提 供 日　2026/01/27
タイトル　麻しん患者の本県来訪について
担　　当　健康福祉部 医療局感染症対策課
連 絡 先　感染症管理センター
TEL 055-928-7220

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

危機管理情報
～麻しん（はしか）患者が本県を訪れていました～
接触した可能性がある方は、体調に注意してください！

１　要旨

１月24日に東京都内で麻しん患者が発生し、別添のとおり、東京都が注意喚起しています。また、保健所において患者の疫学調査を実施し、特定できた接触者について健康観察を行っています。

この患者は、１月22日に発症しており、周囲への感染性を有する期間に、県内で下記の施設を利用していました。下記施設へは公共交通機関以外を利用して来訪しており、利用後は東京都内に移動しているため、下記以外で県内における不特定多数の方との接触機会はありません。

接触した可能性がある方は、「４　患者と接触した可能性がある方へ」を参考に、適切な行動をお願いします。

２　患者の概要

30歳代男性（麻しん予防接種１回接種済、海外渡航歴あり）
発症日：令和８年１月22日（発熱、咳、コプリック斑※、発しん）
届出日：令和８年１月24日
※頬の粘膜（口のなかの頬の裏側）に出現する、やや隆起した１ミリメートル程度の白色の小さな斑点。

３　不特定多数と接触した可能性がある施設

御殿場プレミアム・アウトレット（御殿場市深沢１３１２）
１月21日（水曜日）12:00～16:00の間

- 麻しんウイルスの空気中での生存期間は２時間以下とされています。現時点において麻しん患者が利用した施設を利用されても感染の心配はありません。

４　患者と接触した可能性がある方へ

- 麻しん患者と接触した場合は、接触後最大21日間、体調に注意してください。
- 発熱、発疹等の症状から「麻しん」が疑われる場合は、必ずマスクを着用し、事前に医療機関に「麻しん患者と同じ施設を利用した可能性がある」等を連絡の上、速やかに受診してください。
- 受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

５　麻しんについて

（１）症状等

潜伏期は通常10～12日間（最大21日間）であり、38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が２～４日続き、その後39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。また、麻しんに伴ってさまざまな合併症がみられ、全体では30％にも達するとされます。肺炎や、頻度は低いものの脳炎の合併例もあり、特にこの二つの合併症は麻しんによる２大死因となり、注意が必要です。

（２）感染経路等

空気（飛沫核）感染のほか、飛沫や接触感染など様々な経路があります。感染力はきわめて強く、麻しんの免疫がない集団に１人の発症者がいたとすると、12～14人の人が感染するとされています(インフルエンザでは１～２人)が、日本国内では約85％の人が麻しんの免疫を持っており、このような感染拡大は起こりません。感染力のある期間は、発症１日前から解熱後３日を経過するまでです。

（３）治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

（４）予防

ワクチンの効果は非常に高く、ワクチン接種を受けた人の95％以上が免疫を獲得します。しかし、接種しても、数％は免疫が獲得できない場合や、獲得した免疫が持続しない場合があります。現在、１歳（第１期）と小学校入学前年度（第２期）に、麻しん・風しんワクチンの定期予防接種を実施しており、**予防接種を２回していれば感染するリスクはかなり低下します。麻しんは予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる有効な予防方法です。麻しんの定期予防接種をまだ受けていない子どもは、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。**

（５）麻しん患者の発生状況（単位：人）

※2026年は第３週まで（～1/18の速報値）

年	令和元年(2019年)	令和2年(2020年)	令和3年(2021年)	令和4年(2022年)	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)	令和7年(2025年)	令和8年(2026年)
全国	744	10	6	6	28	45	265	4※
静岡県	10	1	0	2	2	0	2	0

※今回の患者を含まない

別添：東京都公表資料

令和８年１月２６日
保　健　医　療　局

麻しん（はしか）患者の発生について

令和８年１月２４日（土曜日）に都内で麻しん患者（検査診断例）の発生がありました。
管轄保健所において疫学調査を実施し、接触者の健康観察を実施しています。
また、患者の行動歴を確認したところ、周囲に感染させる可能性のある時期に下記の施設等において不特定多数の方と接触した可能性があることが判明しましたのでお知らせします。

【患者の概要】

性別	年齢	症状	海外渡航歴	ワクチン接種歴	発病日
男性	３０代	発熱、咳、コプリック斑※、発しん	有	１回	１月２２日

※頬の粘膜（口のなかの頬の裏側）に出現する、やや隆起した１ミリメートル程度の白色の小さな斑点。

【患者が不特定多数の方と接触した可能性のある施設等】

１月２１日（水曜日）
・しゃぶ葉　渋谷井の頭通り店　１８時３０分から１９時３０分頃
・新宿ワシントンホテル本館　３階フロント　２０時２０分頃
１月２２日（木曜日）
・新宿ワシントンホテル ANNEX（別館）　１階朝食会場　８時３０分頃から９時頃
１月２４日（土曜日）
・新宿ワシントンホテル本館　２５階朝食会場　９時頃

※施設等へのお問い合わせは御遠慮ください。
※現在、上記の施設等を利用しても感染の恐れはありません。

上記日時に当該施設等を利用された方は、体調に注意し、**麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、必ず事前に医療機関に連絡し、麻しんの疑いがあることを伝えてください。受診の際は公共交通機関の利用を控えて医療機関の指示に従って受診してください。**
本情報提供は、感染症の拡大防止のために行うものですので、患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段の御配意をお願いいたします。

＜都民の皆様へ＞

○　麻しんは感染力がきわめて強い感染症で、感染すると約１０～１２日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、２～３日熱が続いた後、３９℃以上の高熱と発疹が出現すると言われています。

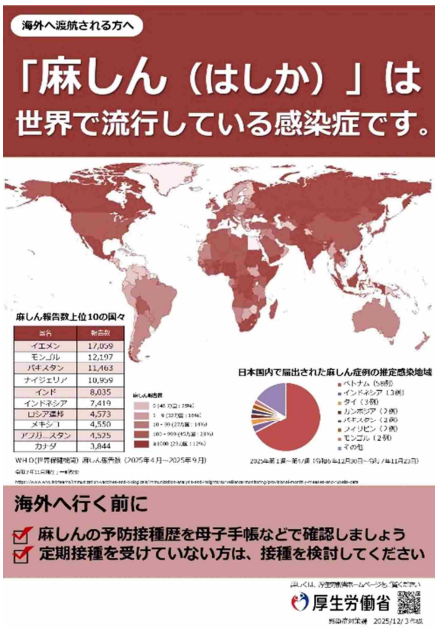
○　<u>麻しんは予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる有効な予防方法です。</u>
　麻しんの定期予防接種（第１期：１歳児、第２期：小学校就学前の１年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

○　海外に渡航し、帰国後に発熱や発疹などの麻しんを疑う症状がある場合は、かかりつけ医または医療機関に相談してください。受診の際は、必ず事前に医療機関に麻しんの疑いがあることを連絡の上、公共交通機関の利用を控えてください。

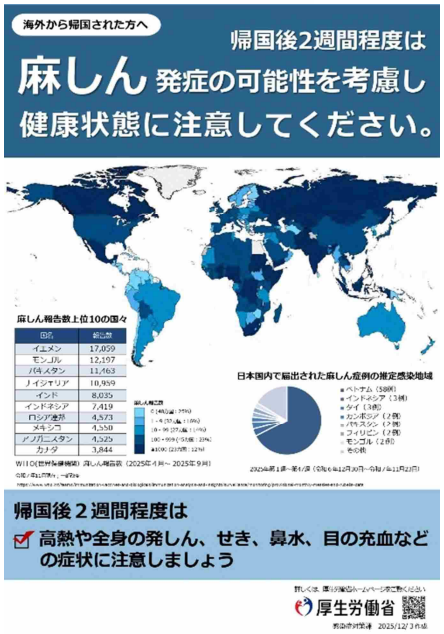
（麻しんに関する基礎知識や予防接種及び相談について、詳細はこちら➡）

（参考）厚生労働省リーフレット：「麻しん（はしか）」は世界で流行している感染症です。

【出国前】



【帰国後】



（参考）麻しん（はしか）とは

１　麻しんとは

麻しんは、麻しんウイルスによる感染症であり、感染症法上の五類感染症です。

２０１５年には世界保健機関西太平洋事務局（WPRO）より日本は麻疹排除状態であると認定され、近年の麻疹の発生は輸入症例を端とするものとなります。

世界でも、麻しんの排除（elimination）に向けて、予防接種率の向上等の麻しん対策が強化されていますが、途上国では、いまだに５歳以下の子どもの主な死亡原因となっています。

２　原因と感染経路

病原体は、麻しんウイルス（measles virus）です。

空気感染が主たる感染経路ですが、その他に、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」、およびウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。

発症した人が周囲に感染させる期間は、症状が出現する１日前から発疹消失後４日くらいまでとされています。なお、感染力が最も強いのは発疹出現前の期間です。

３　症状

感染力はきわめて強く、麻しんに対する免疫を持っていない人が、感染している人に接すると、ほぼ１００％の人が感染します。感染しても発症しない不顕性感染はなく、全て発症します。典型的には、約１０～１２日間の潜伏期間の後、３８℃程度の発熱及びかぜ症状が２～４日続き、その後３９℃以上の高熱とともに発疹が出現します。主な症状は、発熱・発疹の他、咳、鼻水、目の充血などです。

また、合併症として、肺炎、中耳炎、稀に、脳炎、失明等があり、肺炎や脳炎は、重症化すると死亡することもあります。死亡する割合も、先進国であっても１，０００人に１人と言われています。一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

４　治療

特別な治療法は無く対症療法が行われます。感染初期であれば、緊急ワクチン・免疫グロブリンの投与により発症を防止できる可能性もあります。

５　予防のポイント

有効な予防法は、麻しん含有ワクチン接種です。

予防接種法に基づく定期予防接種が計２回（１回目：１歳～２歳未満　２回目：小学校入学前の１年間）行われていますので、対象者の方でまだ接種が済んでいない場合は早めの接種をお願いします。

令和６年度接種率　第１期（１歳児）：９４．５％

第２期（小学校就学前の１年間）：９０．４％

（参考）都内における麻しん患者発生状況

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年
東京都	２３	１２４	２	０	０	１０	１０	３４	１
全国	２７９	７４４	１０	６	６	２８	４５	２６５	１

※東京都の 2026 年は１月２６日までの届出数

※全国の 2026 年は第２週（2026 年１月５日～１月１１日）までの累積速報値